

だいとう子育て通信 No.120

大東子育て支援センター（あおぞら保育園内）
Tel (0854) 43-3129
(0854) 43-9500
Fax (0854) 43-9505

6月の予定

日にち	曜日	活動内容	場所	時間
2	土	久野サロン「よちよち」	元久野幼稚園	9:30~ 11:30
4	月	はたやサロン「ぼかぼかひろば」	幡屋交流センター	
6	水	子育て教室『いも苗植え』（要予約）	あおぞら保育園	
8	金	子育てサロン「うしお」	海潮交流センター	
13	水	赤ちゃん教室『離乳食とベビーフード食べ比べ』（要予約）	あおぞら保育園	
14	木	佐世サロン「ぼっぼ」	佐世交流センター	
15	金	大東サークル	木馬	
21	木	佐世サークル	佐世交流センター	9:30~ 11:00
26	火	市育児相談	大東健康福祉センター	

7月の予定

日にち	曜日	活動内容	場所	時間
2	月	はたやサロン「ぼかぼかひろば」	幡屋交流センター	9:30~ 11:30
4	水	子育て教室『みんなで水遊び』（要予約）	あおぞら保育園	
5	木	おおぎっこサークル「たなばた会」	大東地域交流センター	10時開演
6	金	人形劇団ののはな公演「ともだちげきじょう」	あおぞら保育園 ホール	
7	土	久野サロン「よちよち」	元久野幼稚園	9:30~ 11:30
11	水	赤ちゃん教室『水遊びバシャバシャ・離乳食試食』（要予約）	あおぞら保育園	
12	木	佐世サロン「ぼっぼ」	佐世交流センター	
13	金	子育てサロン「うしお」	海潮交流センター	9:30~ 11:00
23	火	市育児相談	大東健康福祉センター	

※7月は地域サークルはありません。

子育てサロン 「木馬」

開放型の遊びスペースです。木や布のおもちゃがたくさんあります。



今年度より、時間が変更になりました。

毎週火・木曜
9:30~12:00

福祉センターおおぎ内

地域サークル・サロン

支援センターから各地域に、おもちゃや絵本を持って行きます。在宅のお子様とご家族の方、誰が来てもかまいません。地域の方との交流の場です。一緒に遊びましょう。

第2金曜…海潮 第3木曜…佐世
第3金曜…大東

「ぼかぼかひろば」「よちよち」「ぼっぼ」は地域の方々で運営されています。

「保育園って、どんな所かな？」 「同じ年の子どもと遊んでみたいな」

保育園 地域開放デー

各保育園では開放デーを設けています。ぜひ遊びに行ってみてください。

☆大東保育園（43-6132）……毎週水曜日 給食の予約／前日16時まで
☆かもめ保育園（43-5028）……毎週金曜日 給食の予約／前日16時まで
☆あおぞら保育園（43-3129）…毎日 給食の予約（金曜）／当日9時まで

詳細は、各保育園にお問い合わせください。

子育て相談

気になること、
不安や心配、
どんなことでも！
ひとりで悩まないで
気軽に相談してください。

毎月第2・第4金曜日
（祝日は除く）
10時～16時

●直接又は電話にて●
大東子育て支援センター

離乳食紹介

5～6か月頃



- 10倍がゆ
- 野菜のすりつぶし
- 野菜スープ

<固さの目安>

なめらかに
すりつぶした状態

<食材>

おかゆ・野菜のみ

子どもの様子を見ながら、1日1回、1さじずつから始めましょう。
まずは野菜スープから。

7～8か月頃



- おかゆ
- 白身魚煮
- 野菜煮込み
- 野菜スープ

<固さの目安>

舌でつぶせる固さ

<食材>

いろいろな味や舌触りの食品を増やしていきます。
たんぱく質も、初めはひとさじから。魚→豆腐→鶏肉など、毎回同じ食材にならないようにしましょう。
(肉は脂肪の少ないものを使いましょう。)
味付けは、まだ必要ありません。

9か月頃～



- やわらかごはんのおにぎり
- 白身魚の煮付け
- キャベツのお浸し
- ジャがいもお焼き
- みそ汁

<固さの目安>

歯ぐきでつぶせる固さ



歯ぐきでかめる固さ

<食材>

主食(ご飯・パンなど)・主菜(たんぱく質)・副菜(野菜や海草類)を作ります。
食品の幅や調理法を広げていき、いろんな食べ物との出会いを作っていきます。
ハム・ソーセージ・お菓子など加工品は使わないようにしましょう。

●おかゆとごはんの炊き方の目安●

- 10倍がゆ (5か月半～6か月半ごろ) 米1カップ：水10カップ
- 7倍がゆ (7か月～8か月ごろ) 米1カップ：水7カップ
- 全がゆ (9か月～12か月ごろ) 米1カップ：水6カップ

●野菜スープの作り方●

- ①季節の野菜3～4種類を合わせて100gくらい用意し、適当な大きさに切ります。
(※ほうれん草、ナス、トマト、サトイモ、山芋はアクが強く、仮性アレルギーを多く含むので使いません!)
- ②お鍋に野菜と水500ccくらいを入れて火にかけ、沸騰したら弱火にして、アクを取りながら20～30分コトコト煮ます。
- ③茶こし又は万能こし器でこしてできあがり!

だしも味付けもいりません。野菜本来の優しい味を味わってください。
最初に与えるのはスープだけ。煮た野菜は大人用の味噌汁などに变身させてくださいね。





お花に乗ったおひなさま飾りを作りました。着物の柄や台座の色も選んで、オリジナルのかわいいおひなさまがたくさんできました。

3月1日 おおぎっこサークル ひなまつり

少しずつ暖かくなってきて、おでかけもしやすくなりましたね。今回もたくさんの方が参加してくれました。

おひなさま飾りを作ったり、歌をうたったりしてひなまつりの雰囲気を感じ、行事恒例のふれあい遊びもしました。みんなで輪になって歌い、「こちょこちょ〜」とくすぐると子どもの笑い声が響きました。親子の優しいふれあいや、みんなですると違った楽しさがありますね。

参加してくれた皆さん、ありがとうございました！

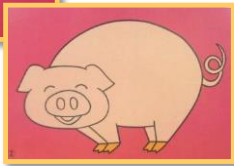
2018年度も楽しい行事を企画していきますので、ぜひ遊びに来てくださいね！

こんなことしたよ！

- ・お花のおひなさま作り
- ・うた「うれひいひなまつり」
- ・大型紙芝居「おおきくおおきく おおきくなあれ」
- ・ふれあいあそび
- ・びゅんびゅんごま作り
- ・おやつ
(ひなあられ・野菜の即席漬け)



ぶたさんが、大きくなった！



大きいケーキに歓声！
食べたーい！

シンプルだけど、とっても面白い。



おやつも彩り良く。みんなで食べるとおいしいね。

3月8日 劇団風の子公演



あおぞら保育園のホールにて、今年度最後の劇団公演を開催しました。ステージと客席が近いので、「観劇」というよりも「体感」を楽しめる公演でした。

シンプルな形だからこそ、変身は自由自在。「まる・さんかく・しかく」が、いろいろな物に大変身しました。

大人も子どもも大笑いの楽しいひとときでした。劇団風の子さん、ありがとうございました！

おおぎっこサークル

★「たなぼた会」★

★7月5日(木) 9:30~11:30★

大東地域交流センター

笹飾り作り、うた、おはなしなど。★

予約不要、参加費無料です。
赤ちゃんの参加もお待ちしています。

人形劇団ののはな公演

ともだちげきじょう

楽しいお話5本立て！
親子で観に来てください。

7月6日(金)10時開演(9時45分開場)

あおぞら保育園ホール

入場無料・予約不要

おはなしのおはなし



第1回／全5回「絵本は、人と人をつなぐもの」 ～ふれあうためのツールとして～

●絵本とは●

- ・絵と言葉が一体となって一つのイメージを伝えるもの。
- ・場所や世代を超えて同じものを共有できるもの。
- ・社会、歴史、文化の記録であり、メッセージを持たせることができるもの。
- ・絵とことばで表現される芸術作品。
- ・子どもにあらゆる体験をもたらすもの。

●絵本は教育ではない●

絵本を読めば字を覚えられるとか、ためになるとか、しつげが上手くいくとか、そういった教育的効果を狙うべきではありません。絵本が子ども達にもたらしてくれるのは、「楽しさ」「喜び」「感動」「共感」といった「こころ」そのものです。

まずは、読み手である大人が楽しむことです。大人自身が大好きな絵本を見つけて、その絵本を読んでもらって初めて、子ども達は絵本がどんなに楽しいものかを実感できるのです。

絵本は心を育て、ことばを育て、夢見る力を育てます。

絵本が私たちに与えてくれるものは何なのかを、親子で読みたい絵本の紹介も交えて、全5回に渡ってお送りします。

●ふれあいのための読み語り●

乳幼児は、字が読めません。ストーリーも理解できません。それでも「絵本を読んであげましょう」と言うのは、どうしてなのでしょう。

それは、読み語りは読み手（大人）と聞き手（子ども）のコミュニケーションだから。

「肌は大きな耳」と言われています。抱っこしたり、膝に乗せたりして、触れ合うことで「あなたを愛しているよ」というメッセージが伝わります。愛されていると感じられれば、人を信頼できる、自分を好きでいられる子どもに成長していくでしょう。

長く読み継がれている優れた赤ちゃん絵本には、親子が自然と触れ合い、自然と優しく語りかけできるような仕組みになっているものが数多くあります。

おすすめ絵本

～この絵本は、こんな所がすごい！～



いないいないばあ
松谷みよ子／文
瀬川康男／絵
童心社
1967年

「めくることでドラマが生まれる」という絵本の醍醐味を存分に味わえる作品。正面から向かい合う構図で聞き手がすんなりとお話の世界に入ることができる。

「いないいない・・・」の後、ページをめくるまでの間が赤ちゃんの反応を促す時間になっており、「ほらね」「なにかな？」と、語りかけるような口調の文章も愛されている理由の一つ。

親子の優しいふれ合いを生む絵本。



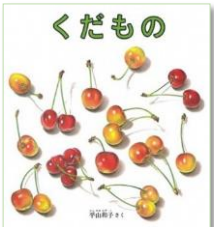
わたしのワンピース
にしまきかよこ／作
こぐま社
1969年

始まりは「まっしろなきれふわふわって そらから おちてきた」。

絵本と言えば「〇〇ちゃんがいました。〇〇ちゃんは・・・」という文体だった時代において、この作品は新たな試みで絵本の可能性を切り開いたとも言える。

無駄をそぎ落としたシンプルかつ大胆な描画と文章、緻密な色彩表現が魅力の絵本。

ワンピースの模様が次々に変わっていくストーリーは少女の



くだもの
平山和子／作
福音館書店
1977年

果物がほぼ実物大で描かれ、次のページではそれが食べられる形になって登場する。

桃のざらっとした表面や、つややかな苺の質感は本物と見違えるほどで、思わず手を伸ばしたくなる瑞々しさがある。

「さあ どうぞ」の言葉が、読み手と聞き手のコミュニケーションを生みだしており、ファーストブックにも良い。また、「物には名前があり、言葉が意味を持つ」ということを理解し始める年齢の子どもにも大きな喜びをもたらしてくれる。

●絵本を購入しました●

- ・ぼくのおべんとう
- ・わたしのおべんとう
- ・かさ さしてあげるね
- ・まる さんかく そう
- ・しろうさぎとりんごの木
- ・サムとタイプ、あなをほる
- ・きゅうりさん あぶないよ
- ・ぼく おかあさんのこと・・・
- ・だいすき きゅっぎゅっ
- ・どんなに きみがすきだか あててごらん
- ・がたんごとん がたんごとん ざぶんざぶん
- ・あかにんじゃ
- ・よるくま
- ・ひらいたひらいた
- ・たたくと ほん
- ・やさい

大仁地区更生保護女性会様より「愛の図書」の寄付金で購入しました。ありがとうございました。